

# 株主通信

第120期 報告書  
2016.4.1 >>>>> 2017.3.31

## CONTENTS

- ▶ 1 ひと目でわかる東洋鋼鋳
- ▶ 2 **トップインタビュー**
- ▶ 5 TOPICS
- ▶ 7 当期のポイント／セグメント情報
- ▶ 8 連結財務諸表
- ▶ 9 株主さまの声
- ▶ 10 会社概要／株式の状況

**東洋鋼鋳株式会社**

証券コード：5453

## 缶用材料



食缶・インキ缶(ぶりき)

- ラミネート鋼板
- ぶりき
- ティンフリースチール

- ニッケルめっき鋼板
- 電気亜鉛めっき鋼板
- 冷延鋼板

リチウムイオン電池  
(ニッケルトップ)

## 電気・電子部品材料 自動車・産業機械部品材料



## 建築・家電用材料



ユニットバス  
壁材  
(ビニトップ)

- 樹脂化粧鋼板
- 銀鏡めっき金属板



日本で民間初の  
ぶりきメーカー

## ひと目でわかる東洋鋼鈹

# 鉄から広がる 鉄無限大“∞”

当社の製品は私たちのくらしの身近なところで活躍しています。  
“鉄”とともに歩み続けてきた東洋鋼鈹はこれまでさまざまな製品を世に送り出してきました。今日ではその伝統で培った、圧延、表面処理、ラミネートなどの技術をもとに“鉄”から“非鉄”や“樹脂”へと自らのフィールドを拡大しています。

## 機能材料

- 磁気ディスク用アルミ基板
- 光学用機能フィルム

液晶テレビ、  
スマートフォン向けフィルム  
(光学用機能フィルム)



## 機械関連

- 自動車用プレス金型
- 梱包資材用帯鋼
- 機械器具
- 硬質合金

自動車ボデイサイドの金型  
(自動車用プレス金型)



# 次期は業績のV字回復を目指します。



代表取締役社長

## 隅田博彦

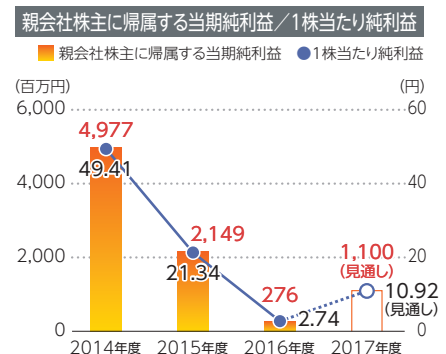
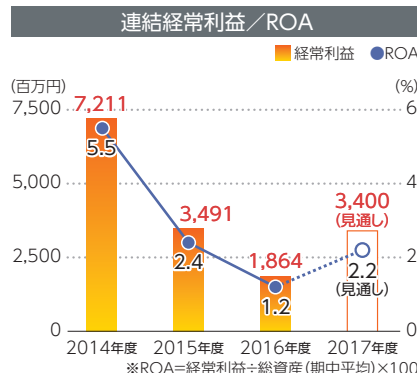
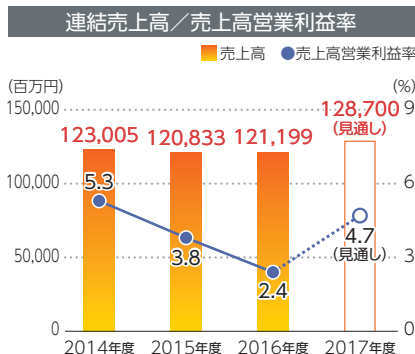
第120期報告書をお届けするにあたり、  
代表取締役社長 隅田博彦へのインタビューを通して  
当社グループの現状と今後の動向をご説明いたします。

**Q** 当期の経営成績についてご解説ください。

**A** 機能材料関連事業および機械関連事業の低迷が響き、減益となりました。

鉄鋼業界では、内需に持ち直しの動きが見られたものの、世界的な鋼材需給緩和が継続するなど、厳しい事業環境が継続しました。このような環境下、当社グループにおいては、主力の鋼板関連事業の業績が大幅に好転したものの、機能材料関連事業と機械関連事業での損失が膨らんだことから、当期の連結経営成績は、売上高1,211億99百万円(前期比0.3%増)、営業利益28億76百万円(前期比36.7%減)、経常利益18億64百万円(前期比46.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益2億76百万円(前期比87.1%減)となりました。

鋼板関連事業は、飲料缶材の需要減などに伴いやや減収となりましたが、新規需要の開拓などにより鋼板全体の販売



数量が増加したことやコストダウンの取り組みが功を奏し、前期から大幅な増益となりました。機能材料関連事業は、磁気ディスク用アルミ基板の生産性が一時悪化したことに加え、光学用機能フィルムの需要が低迷したことなどから、当事業セグメント全体としては前期に比べ減収減益となりました。機械関連事業は、株式会社富士テクニカ宮津の連結子会社化に伴い前期から増収となりましたが、自動車用プレス金型の外注費用が増加したことなどにより、営業損失を計上することを余儀なくされました。

## 中期経営計画の進捗について お聞かせください。

### A 2年目以降は大幅な 業績の回復を見込みます。

残念ながら中期経営計画「TK WORKS 2018」の初年度は、数値目標に到達するには至りませんでした。しかしながら、鋼板関連事業では、電気自動車などに幅広く使われているリチウムイオンバッテリー向けのニッケルめっき鋼板で需要の拡

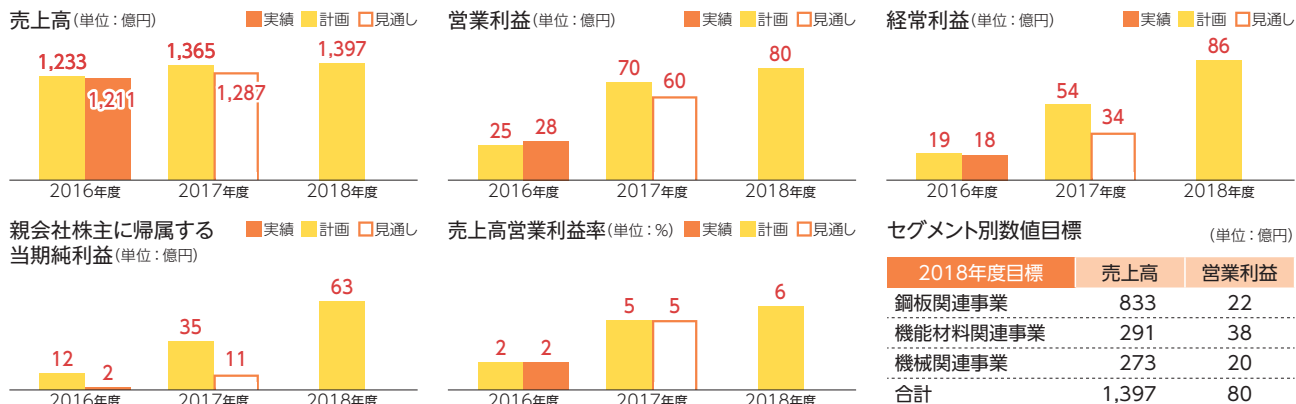
大が期待されるなど、いくつかの明るい材料も出てきております。また、トルコの合弁会社トスヤル トーヨー社も2017年5月からいよいよ本格的に稼働を開始しており、トルコ国内をはじめ中東・アフリカ・欧州などの成長市場での顧客開拓も順調に進んでおります。

当期の減益要因となった機能材料関連事業および機械関連事業では、収益性が悪化した原因は明らかであり、各事業において課題の解決に向けて着実に取り組んでおります。

機能材料関連事業では、磁気ディスク用アルミ基板の需要が下期以降は順調に回復するとともに、悪化していた生産性についても技術的な問題の解決に伴い大きな改善が見られております。同様に、光学用機能フィルムにつきましても、緩やかに需要は回復していくことが期待されます。

機械関連事業では、一過性とはいえ当期の損失の大きな要因となった自動車用プレス金型における外注費用の処理もほぼ終わり、今後は受注・生産計画の管理体制をしっかりと整えるとともに、当社および当社グループ会社間の連携を一層深化させてまいります。

## TK WORKS 2018 3ヶ年損益目標(連結)



新規事業としては、当社が山口大学と開発してきた遺伝子解析キット「ジーンシリコンDNAチップキットUGT1A1」が、2016年12月12日付で薬事承認を取得いたしました。引き続き、本キットの上市に向けた準備を進めるとともに、新たなチップの開発を加速させてまいります。

2018年3月期の通期連結業績については、売上高1,287億円(前期比6.2%増)、営業利益60億円(前期比108.6%増)、経常利益34億円(前期比82.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益11億円(前期比298.2%増)を予想しております。

**株主の皆さまへメッセージを  
お願いいたします。**

**A 中期経営計画に掲げる目標を  
達成すべく全力を尽くします。**

「TK WORKS 2018」の初年度は、計画に掲げる成長戦略を着実に推進する一方で反省と課題が多く残る一年となりましたが、先ほども申しましたとおり、当期の業績の落ち込みに関しては、その原因は明らかであり、対策を適切に講じており

ます。今後も当社グループを取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況が予想されますが、既存事業の収益性の改善による経営基盤の強化と投資のリターン確保を軸に、各事業の重点施策に取り組むことで収益の「V字回復」の達成を目指してまいります。

なお、当期末の配当金につきましては、1株当たり5円とさせていただきます。中間配当金と合わせ、年間配当金は10円となります。2017年度につきましても、中間と期末でそれぞれ5円ずつ、1株当たり年間10円の配当を予定しております。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



## TK WORKS 2018

### 推進項目

#### 鋼板関連事業

- トスヤル トーヨー社の確実な立ち上げと早期収益確保
- 原材料コストダウン、製造原価低減活動の強化
- 競争力のある表面処理製品の世界市場投入
- 車載用二次電池需要増に対応した生産能力増強

#### 機械関連事業

- 海外展開を中心とした機器事業の拡大
- 富士テクニカ宮津とのシナジー実現

#### 機能材料関連事業

##### 【磁気ディスク事業】

- 独自技術開発による品質優位性の確立
- 生産プロセスの改善によるコストダウン推進

##### 【フィルム事業】

- コスト競争力向上によるシェア拡大
- 現場改善活動による生産体制強化

#### 新規事業

- DNAチップ事業の早期事業化

## 遺伝子解析キット 「ジーンシリコンDNAチップキットUGT1A1」の 国内製造販売承認について

当社が山口大学と開発してきた遺伝子解析キット「ジーンシリコンDNAチップキットUGT1A1」が2016年12月12日付で薬事承認を取得しました。

当社独自の素材・表面処理技術を活用することで開発された本キットは、イリノテカン塩酸塩水和物（抗がん剤）の投与が予定されている患者の副作用発現リスクに関連する遺伝子の解析を行うものです。

当社の遺伝子解析キットは、世界の新しい潮流であるプレジジョン・メディシン（精密医療）の実現に貢献してまいります。

### 記者発表を行いました

遺伝子解析キットが薬事承認されたことを受け、2017年1月16日に当社、山口大学および山口県などが合同で記者発表を行いました。

当社にとって医療分野への本格的な進出となる本発表には、多数の報道機関が取材に訪れ、開発製品に高い関心が寄せられました。

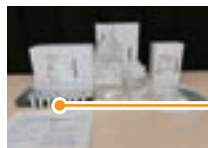


記者発表の様子（左から森賀取締役、隔田社長、山口大学 岡学長）

### 診察



### 遺伝子解析キット



### 専用検出器



### 遺伝子型を判定

### 投与前の診断情報 (薬剤の副作用予測)



薬剤（抗がん剤イリノテカン）を投与する前に副作用リスクを判定します。

製品のご紹介  
～どのように役に立つのか～

### DNAチップ



### POINT

- 1 マルチ測定  
複数の遺伝子型を同時に測定
- 2 高い測定精度
- 3 少ない検体量で測定が可能
- 4 短時間(4時間)で測定が可能

## トルコ事業の進捗

トルコの合併会社トスヤル トーヨー社は、オスマニエ工場の建屋建設に続き製造設備の据付が完了し、2017年3月末時点で従業員数は約700名となりました。同工場は、4月に全ラインの試運転が完了し、5月より商業生産を開始しました。また、トルコ国内外のお客さまからの受注は着々と増えており、早期の収益確保に向け、引き続き事業を推進してまいります。



工場の全景



酸洗・5基連続冷間圧延一貫ライン



当社ブースの様子



展示品

## 第4回高機能金属展に出展しました

当社は、「第4回高機能金属展(会期:4月5日～7日 於:東京ビッグサイト)」に出展しました。ブースにはクラッド材(ステンレス/銅積層箔など)や、開発中の表面処理材であるスチール基材に電磁波シールド性を付与した新複合材料、ステンレス上に高被覆・極薄の貴金属めっき層を付与した材料などを展示しました。会期中は当社製品をご使用いただいているお客さまをはじめ、多数の方々当社ブースへ足を運んでいただきました。今後は、展示した開発品をエレクトロニクス分野や自動車関連分野などへ積極的に展開してまいります。

## 当期のポイント

POINT

▶ 売上高	121,199百万円
(前期比 0.3%増)	
▶ 営業利益	2,876百万円
(前期比 36.7%減)	
▶ 経常利益	1,864百万円
(前期比 46.6%減)	
▶ 親会社株主に帰属する当期純利益	276百万円
(前期比 87.1%減)	

### POINT 1

売上高は、株式会社富士テクニカ宮津を連結子会社化したことなどにより前期に比べ増加。

### POINT 2

営業利益は、機能材料関連事業における販売数量の減少および生産性の低下や機械関連事業における外注費用の増加などにより前期に比べ減少。

### POINT 3

営業利益の減少に伴い、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益も前期に比べ減少。

## セグメント情報

SEGMENT INFORMATION

### 鋼板関連事業

#### 事業内容

缶用材料、電気・電子部品、自動車・産業機械部品、建築・家電向け材料の製造および販売

#### 事業の概況

- 缶用材料は、缶コーヒー用途の飲料缶材の販売数量が減少したことなどにより、前期に比べ減収。
- 電気・電子部品向けは、電池用途で民生用・車載用ともに販売数量が増加したが、為替の影響などにより、売上高は前期並み。
- 自動車・産業機械部品向けは、ガasket用途などの販売数量が増加したが、ベアリングシール用途の低迷や為替の影響などにより、売上高は前期並み。
- 建築・家電向けは、ユニットバス用内装材や冷蔵庫扉材などの販売数量が減少し、前期に比べ減収。



売上高  
(単位:百万円)



63.6%  
78,409百万円

### 機能材料関連事業

#### 事業内容

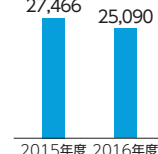
磁気ディスク用アルミ基板、光学用機能フィルムの製造および販売

#### 事業の概況

- 磁気ディスク用アルミ基板は、第2四半期以降、需要の回復基調が続いたが、高品質化に伴う生産性の低下による販売数量の減少や為替の影響などにより、前期に比べ減収。
- 光学用機能フィルムは、フラットパネルディスプレイ関連の市場の調整局面が続いたことなどにより、前期に比べ減収。



売上高  
(単位:百万円)



売上高  
構成比

20.4%

25,090百万円

### 機械関連事業

#### 事業内容

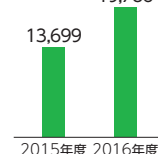
自動車用プレス金型、梱包資材用帯鋼、機械器具、硬質合金の製造および販売

#### 事業の概況

- 自動車用プレス金型は、出荷期ズレにより計画に比べ減収。
- 梱包資材用帯鋼は、売上高は前期並み。
- 機械器具は、部品などの販売が低迷したが、装置本体の販売が好調に推移し、売上高は前期並み。
- 硬質合金は、射出成形機部品の販売が低迷し、前期に比べ減収。



売上高  
(単位:百万円)



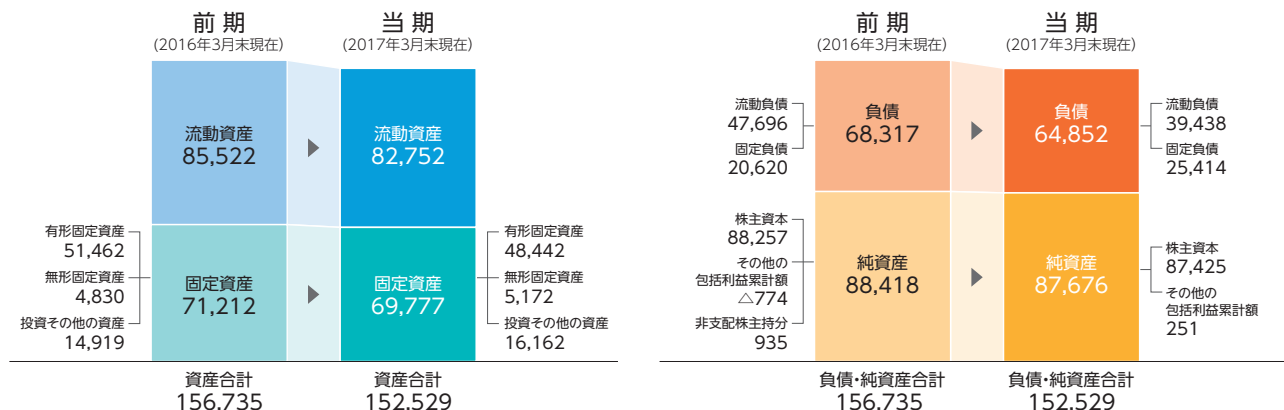
16.0%  
19,786百万円

※各セグメントの売上高はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

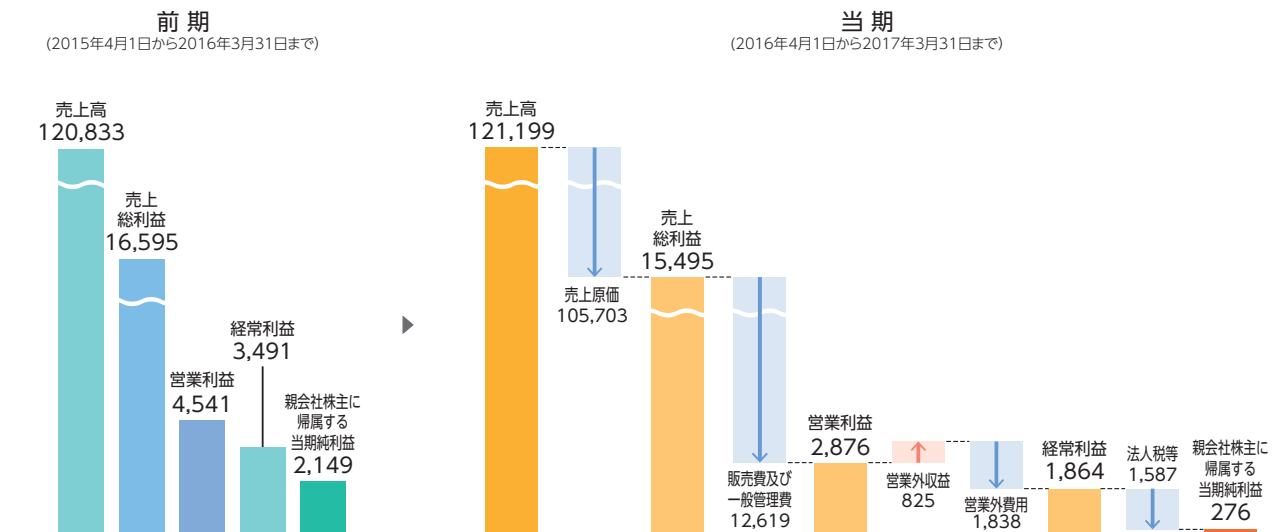
※2016年度より、報告セグメントを「其他事業」から「機械関連事業」に変更しております。



## 財務状況 (単位: 百万円)



## 経営成績 (単位: 百万円)



# 株主さまの声

第120期中間報告書において、株主の皆さまにアンケートをお願いしましたところ、429名の方からご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。一部ではございますが、株主の皆さまからのご意見・ご感想を紹介させていただきます。

発展し続ける会社であってほしいです。  
時代を先取りする  
新製品の開発に力を入れてください。

富士テクニカ宮津との  
シナジー効果に  
期待します。

堅実な経営なので  
信頼して  
投資できます。

今後も  
適切な情報提供を  
お願いします。

光学用機能フィルムなどのように  
鋼板以外の別分野への  
進出を期待します。

配当金の増額を  
お願いします。

トルコ事業を頑張ってください。

遺伝子解析キットの  
早期開発を  
期待しています。

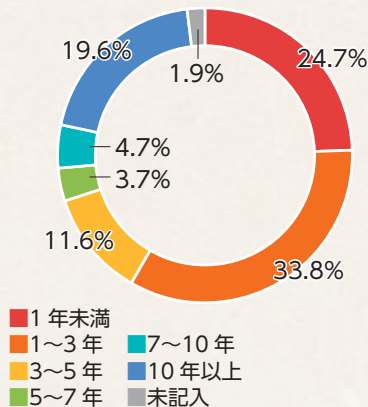
先進的取組、成長戦略を  
もっと外部に向けて  
アピールしてください。

IR活動や、製品の紹介を  
もっとしてください。

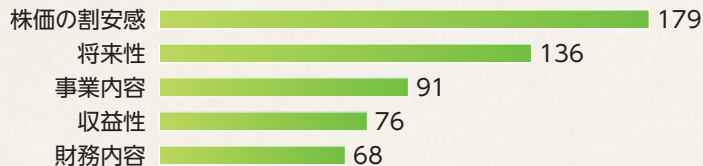
今後もアンケートを通じて  
株主の声を上げる場  
を設けてください。

## アンケート集計結果

### ● 当社株式の保有年数



### ● 当社の株式を購入された理由はなんですか？（複数回答可）



### ● 第120期中間報告書で興味を持った記事はどれでしょうか？（複数回答可）



# 会社概要／株式の状況

CORPORATE PROFILE & STOCK INFORMATION

(2017年3月31日現在)

## 会社の概況

商号	東洋鋼鋳株式会社
本社	東京都千代田区四番町2番地12
設立	1934年4月11日
資本金	50億4,000万円
従業員数	2,809名(連結)
事業所	本社(東京都)、大阪支店、仙台営業所、名古屋営業所、 広島営業所、福岡営業所、技術研究所(山口県下松市)、 下松事業所(山口県下松市)

## 役員 (2017年6月23日現在)

代表取締役社長	隅田 博彦	社外監査役	生田 章一
取締役専務執行役員	宮地 正文	監査役	大川 邦夫
取締役常務執行役員	田辺 敏幸	専務執行役員	辰巳 英之
取締役常務執行役員	森賀 俊典	執行役員	長谷川 浩
取締役常務執行役員	中野 和則	執行役員	塩道 行正
取締役常務執行役員	藤井 孝司	執行役員	大桑 高嗣
社外取締役	林 芳郎	執行役員	清木 和浩
社外取締役	染谷 良	執行役員	中村 琢司
取締役	毎田 知正	執行役員	齋藤 雅宏
常勤監査役	浪岡 貞之	執行役員	荒瀬 真彰
社外監査役	冲中 一郎	執行役員	山本 彰

## 東洋鋼鋳グループ

連結子会社	株式会社富士テクニカ宮津 鋼鋳商事株式会社 鋼鋳工業株式会社 KYテクノロジー株式会社 TOYO-MEMORY TECHNOLOGY SDN. BHD. (マレーシア)
持分法適用関連会社	TOSYALI TOYO CELIK ANONIM SIRKETI (トルコ)
非連結子会社	12社
関連会社	6社

## 株式の状況

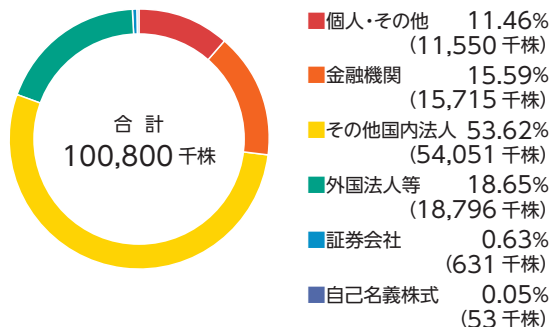
発行可能株式総数	403,200,000株
発行済株式の総数	100,800,000株
株主数	4,251名

## 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東洋製罐グループホールディングス株式会社	47,885	47.53
株式会社三井住友銀行	2,980	2.96
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	2,665	2.65
公益財団法人東洋食品研究所	2,055	2.04
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	2,035	2.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,992	1.98
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	1,668	1.66
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,505	1.49
株式会社淀川製鋼所	1,429	1.42
株式会社山口銀行	1,316	1.31

(注) 1. 持株比率は自己株式を除いて計算しております。  
2. 千株未満は切り捨て、小数点以下第3位は四捨五入しております。

## 所有者別株式分布状況



(注) 千株未満は切り捨て、小数点以下第3位は四捨五入しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネット) ホームページURL	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/ agency/index.html</a>
公告方法	電子公告 公告掲載URL <a href="http://www.toyokohan.co.jp">http://www.toyokohan.co.jp</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

## お問合せ

証券口座で株式を保有している株主さま	住所変更、買取請求その他お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
特別口座で株式を保有している株主さま	住所変更、買取請求その他お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行株式会社)にお問合せください。

# 東洋鋼鋳株式会社

〒102-8447 東京都千代田区四番町2番地12  
電話 (03)5211-6211(代表)  
ホームページURL [tkworks.jp](http://tkworks.jp)



本冊子は環境保全のため  
植物油インキで印刷しています。



## ホームページのご案内

### コーポレートサイト



当社のホームページでは、当社の製品を紹介する「身近な東洋鋼鋳」をはじめ、投資家の皆さま向けのIR情報など、さまざまな情報を掲載しております。

[tkworks.jp](http://tkworks.jp)

### IRサイト



IRサイトでは適時開示情報をはじめ、決算短信などの各種IR関連資料やIRトピックス、株価情報など最新の情報を提供しております。

[http://www.toyokohan.co.jp/  
ja/ir/index.html](http://www.toyokohan.co.jp/ja/ir/index.html)